

ATC COMMUNICATION SEMINAR VOL.2

～開催のご案内～

平素はアキバテクノクラブの活動にご協力戴きまして誠にありがとうございます。

このたび、アキバテクノクラブの産学連携活動の一環として、アキバテクノクラブ主催による会員及び不特定多数を対象としたサロンのなセミナーを開催させていただきます。第2回はデジタルハリウッド大学と共催し、学長の杉山知之氏をお迎えして別紙の通りに開催いたします。最新デジタルコンテンツ業界事情とその行方、また今後の電腦都市アキバを考える上でも興味深い内容かと存じます。また、総数119点もの力作の応募があったアキバテクノクラブシンボルマーク・シンボルロゴコンテスト表彰式（最優秀賞1点、優秀賞5点、学生奨励賞1点）も併せて行い、審査委員長の杉山氏に講評をしていただきます。

つきましては、アキバテクノクラブメンバーの方々、コンテストに応募された方々を含め、多数の皆様にご越しいただきたく、下記申込書にご記入の上、1/19（木）までに事務局宛 FAX（03-3252-1840）頂きたくよろしくお願い申し上げます。

2006年1月5日（木）

関係者各位

アキバテクノクラブ
事務局長 鈴木敏行

第2回 ATC COMMUNICATION SEMINAR

『デジタルコンテンツの聖地を目指して！～杉山知之氏～』

参加申込書

【所属先】

【部署】

【役職】

【氏名】

【住所】

【e-mail】

【TEL/FAX】

*こちら <http://www.akiba-sangaku.jp/event/archives/comsemi01.html>からのお申込みも可能です。

* なお、応募多数の場合は、調整の上ご連絡申し上げます。

第2回 ATC COMMUNICATION SEMINAR
『デジタルコンテンツの聖地を目指して！～杉山知之氏～』

【主催】アキバテクノクラブ（株アバンアソシエイツ）

【共催】デジタルハリウッド大学

【日時】2006年1月24日（火） 18:00～20:00

杉山学長セミナー

シンボルマーク・シンボルロゴコンテスト表彰式

【場所】秋葉原ダイビル5F「秋葉原クロスフィールド産学交流ゾーン」

アクセスマップは以下URL参照

<http://www.akiba-cross.jp/map/index.html>

【テーマ】「未来都市アキハバラの姿」をデジタルコンテンツ産業の行方から探る
“デジタルコンテンツの聖地を目指して”

【参加定員】シンボルマーク・シンボルロゴコンテスト応募者を中心に 40名

【費用】参加費：一般¥3,000-

【プログラム】[杉山学長セミナー] 18:00～19:00

（懇親会形式）

- ・最新デジタルコンテンツ事情とその行方
- ・未来都市アキハバラの姿
- ・その他

[シンボルマーク・シンボルロゴコンテスト講評&表彰式]19:00～19:30

（最優秀賞1点、優秀賞5点、学生奨励賞1点、懇親会形式）

- ・杉山学長（審査委員長）による講評
- ・表彰式
- ・コンテスト入賞者とのディスカッション

[懇親会] 19:30～20:00

【問い合わせ】アキバテクノクラブ事務局（担当：土方）

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13

秋葉原ダイビル5F(株)クロスフィールドマネジメント内

(株)アバンアソシエイツ秋葉原事務所

TEL/FAX.03-3252-1840 e-mail: atc.comsemi@akiba-sangaku.jp

<杉山知之氏プロフィール>

デジハリ学校長

デジタルハリウッド大学学長

デジタルハリウッド大学大学院学長

工学博士

1954年東京都生まれ。

1979年、日本大学大学院理工学研究科修了後、日本大学理工学部助手。87年より、MITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。90年、国際メディア研究財団・主任研究員、93年、日本大学短期大学部専任講師を経て、94年10月、デジタルハリウッド設立。以来、クリエイターの育成、インターネットビジネスの発展に力を注いでいる。

デジハリ創立10周年となる2004年、開校当初からの念願であった、デジタルコンテンツ専門の「デジタルハリウッド大学院」を設立。同年11月、IT×英語&留学×クリエイティブを学ぶ「デジタルハリウッド大学」が文部科学省認可。学長に就任。2005年4月開学。

【委員】

デジタルラジオ推進協会・番組審議会委員 その他、CG-ARTS協会、デジタルコンテンツ協会などの委員を歴任。

また、毎年、多くのデジタルコンテンツのコンテストの審査員を務めている。

【著書】

「デジタル書齋の知的活用術」（岩波アクティブ新書）

「ポストITは日本が勝つ！」（アスキー出版）

「デジタル・ストリーム・未来のリ・デザインング」（NTT出版）